

国立大学図書館協会 資料委員会
オープンサイエンス小委員会

アンケート調査「研究データのポリシー策定および管理等
への図書館の関与について」のまとめ

2022年9月

国立大学図書館協会

国立大学図書館協会資料委員会アンケート調査

「研究データのポリシー策定および管理等への図書館の関与について」のまとめ

オープンサイエンス小委員会より実施した標記アンケート調査の回答をまとめた。

1. アンケート概要

回答期間：令和4年7月22日－8月31日

対象：国立大学図書館協会 会員館

回答機関：計77機関

2. 研究データのポリシー策定状況および傾向

- 全体の13%が策定済、18%が策定中、42%が未着手だが予定あり、27%が未着手である。
- 策定に関わっている部署は、図書館以外では、研究協力（推進）部署、情報基盤部署、URA等がある。また、理事や副学長等が参加するWGを設置した機関では、構成員として情報部門や各分野の教員も見受けられる。
- 策定済の10機関ではいずれも図書館がかかわっている。
- 約半数の40機関で図書館が策定に関わっている。
- 図書館に関わっている機関は策定状況が進んでいる傾向が強い。
- ポリシー策定が済んでいるのは大学規模が8学部以上の大学に多い。
- 未着手の機関では、検討する体制が設置されていない、別部署での検討状況を図書館が把握できていない、部署によっての温度差がある等の事情が見受けられる。

3. 研究データ管理において図書館が果たすべきと考える役割

多くの機関が研究データの保存・公開をあげている。また広報や啓発、利用者教育、システム関係の部署との調整等も見受けられた。

約半数の37機関が研究データ公開先として機関リポジトリを想定しているが、研究データの受け取り方法やメタデータの付与、研究データのライセンスの考え方、センシティブデータへのアクセス管理、制限公開や共有といった一般公開以外の要望への対応等、これまで図書館が扱っていたコンテンツとの違いを課題としている。加えてストレージ容量の積算やGakuNin RDMとの連携、JAIRO Cloudを導入している機関ではシステム移行（WEKO2からWEKO3）や機能検証を課題としてあげている。また、残り半数の内訳は「図書館の機関リポジトリは使用していない、またはしない予定である。」が2機関、「検討中」が16機関、「未定」が22機関となっており、研究データ公開先として機関リポジトリを想定しているかに関わらず、多くの機関が公開基盤の運用を課題としている。

4. 今後の課題について

各機関があげた課題をポリシー策定の進捗状況ごとに整理した。

1) ポリシー策定前の機関

ポリシー策定の議論を行う場が設置されていないことを課題としており、具体的には、他部署を巻き込んだ動きをボトムアップですることが困難であること、関係部署の動きが不透明であること、学内における研究データ管理の必要性の認識不足等をあげている。また、ポリシー策定中・策定済の機関と同様、ポリシーを策定してからどのように実効性を持たせるかを課題としている。加えて研究データの公開基盤として既存の機関リポジトリが機能するかといったシステム面でも懸念があり、ポリシー策定体制の設置に関する課題はもとより、策定後のポリシーの実効性やシステム面で様々な点を課題としていることがうかがえた。

2) ポリシー策定中の機関

課題をあげる機関は多くなかったものの、ポリシー策定済の機関と同様、ポリシーに実効性を持たせることを課題としていることが見受けられ、具体的にはポリシーを踏まえた実施要領や各部局での実施方針の策定等をあげている。

3) ポリシー策定済の機関

ポリシーに実効性を持たせることを課題としており、具体的にはポリシーを踏まえた実施要領や各部局での実施方針の策定等をあげている。また研究データの受入れ業務の具体策を課題としており、メタデータの付与や、研究データ管理基盤と公開基盤の運用方法、DMPの作成支援等をあげている。

5. 各機関からの質問事項

各機関から集まった他機関（特に先行する大学等）に聞きたいことを内容別に整理した。なお、ポリシー策定に関する質問は策定前・策定中の機関からが多く寄せられた一方で、その他の質問についてはポリシー策定の進捗状況に関わりなく寄せられた。

1) ポリシー策定について

- ポリシー策定のための体制の作り方および進め方（どういった経緯で体制を形成したか、学内でのコンセンサスの取り方、WGに研究者（教員）が参加している場合はその経緯等）
- 担当部署との連携・役割分担・主導部署について
- 策定までに要した時間、議論の内容
- 具体的な策定スケジュールや策定に向けてしなければならないこと
- 教員・上層部の意識、他部署との温度差
- 研究者からの意見をどのように・どの程度取り入れるか。
- 文系小規模大学における、策定に向けてデータの有無や策定のニーズの把握、進捗状況を知りたい。
- 人文系の特定分野に特化した研究機関・大学におけるポリシー策定の先行事例があれば情報提供してもらいたい。

2) ポリシー策定後について

- どのようにしてポリシーに実効性を持たせるか

- 各部局・研究分野に即した実施方針、実務的なガイドライン等が必要
- ポリシー策定後の研究者へのフォローアップ
- ポリシー策定後に入れるべきだったと思った条項

3) 図書館の役割について

- ポリシー策定の中で明確になった図書館の役割や整備すべき課題について
- 図書館が具体的にどのような役割を果たしているのか
- 図書館が関与している場合の人材の確保、担当者のスキル等について

4) リポジトリについて：運用面

- 対象とする研究データについて（論文に付属する研究データ以外も扱うか）
- データ管理に関する支援の具体的な内容（業務フローのレベルで）
- 研究データの提出・入手の流れ（申請書や申請フォームの用意等）
- 「非公開」や「限定公開」の研究データをリポジトリに登録するにあたり、関連規程の改正作業は生じたのか。
- 教員と図書館との分担について（公開可否判断やメタデータの作成）
- メタデータの付与、品質管理に必要な図書館職員のスキル
- データの種別に応じた公開先の選定方針と研究者への周知について
- 研究データへのライセンス付与に関する研究者への説明と留意点および付与手順について
- サイズの大きいデータを登録する際、研究者にその費用を負担してもらっているか。
- 10年以上の超長期保存に向けたアーカイビング等の取組を検討しているか。

5) リポジトリについて：システム面

- 研究データ公開のプラットフォームの選定理由
- データ公開基盤の種類と規模
- 運用を維持しながらシステム基盤を拡張するためにどのような方策をとっているか。
- NII が整備しようとしている公開/管理/検索基盤の枠組みにおいては、個別システムでも問題ないのか、JAIRO Cloud へ切り替えたほうがいいのか。
- 研究データ公開のための環境の整備にかかった時間と費用
- 公開基盤の維持に関する予算調達をどのように行っているか。
- 研究データを機関リポジトリ等へ保存する際に必要なストレージ容量の見通しをどのように立てているか。
- 研究データ公開基盤として GakuNin RDM を使用する場合、構築済の機関リポジトリから JAIRO Cloud へ機関リポジトリを移行するか。
- 登録するデータの 1 ファイル当たりの上限について
- WEKO3 を運用する場合に JPCOAR 以外のメタデータスキーマへの対応について

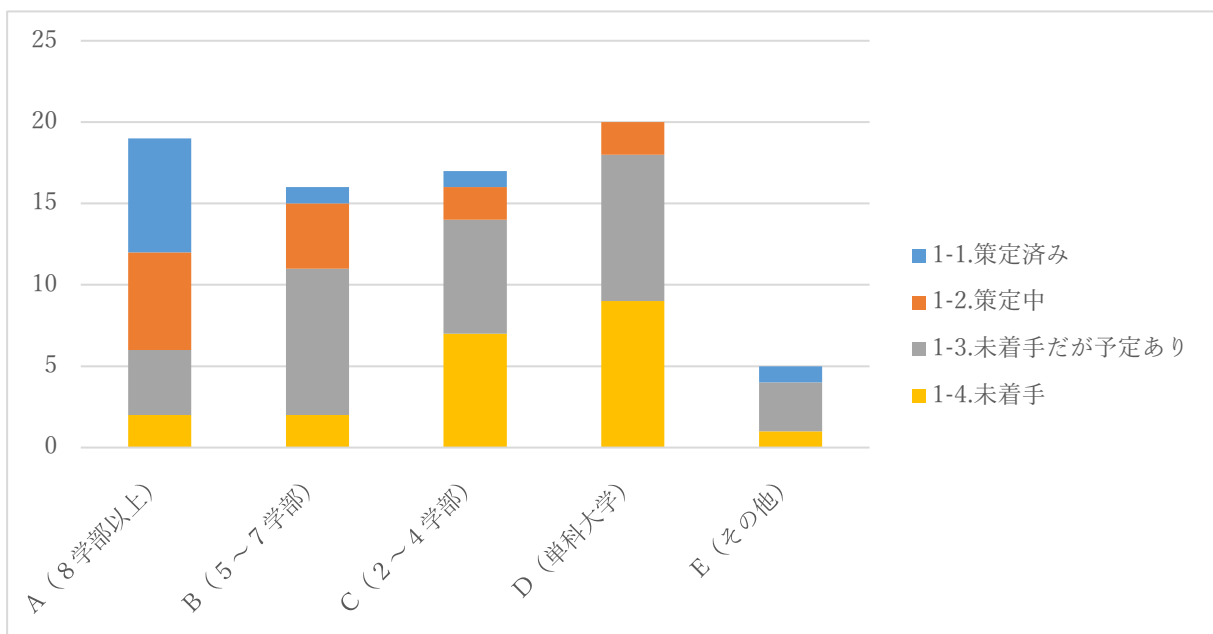
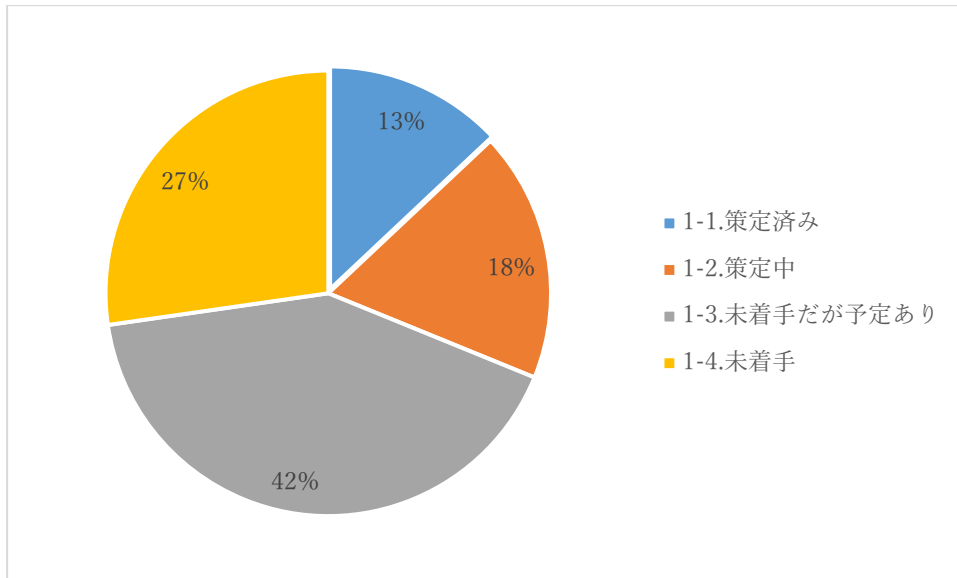
6) 研究データ管理全般について

- 研究者の研究データマネジメント支援の具体例について知りたい。
- 研究データ管理基盤の整備状況や運用に係る予算等
- 研究データポリシーにおいて、データに「非デジタルを含む」とした場合、NII Research Data Cloud (NII RDC) 上では完結しない多種多様な (非デジタル) 研究データをどのように管理するか、といった不安を感じる。特に非デジタルデータについての管理の実例があれば知りたい。
- NII RDC を実際に導入している機関において、各基盤間の連携や、導入前後の変化 (メリット・デメリット等) について聞きたい。
- 管理基盤をどうするか
- GakuNin RDM をどう運用していくか。
- DMP の作成をどうするか。
- 大学として DMP の様式を提供しているかどうか

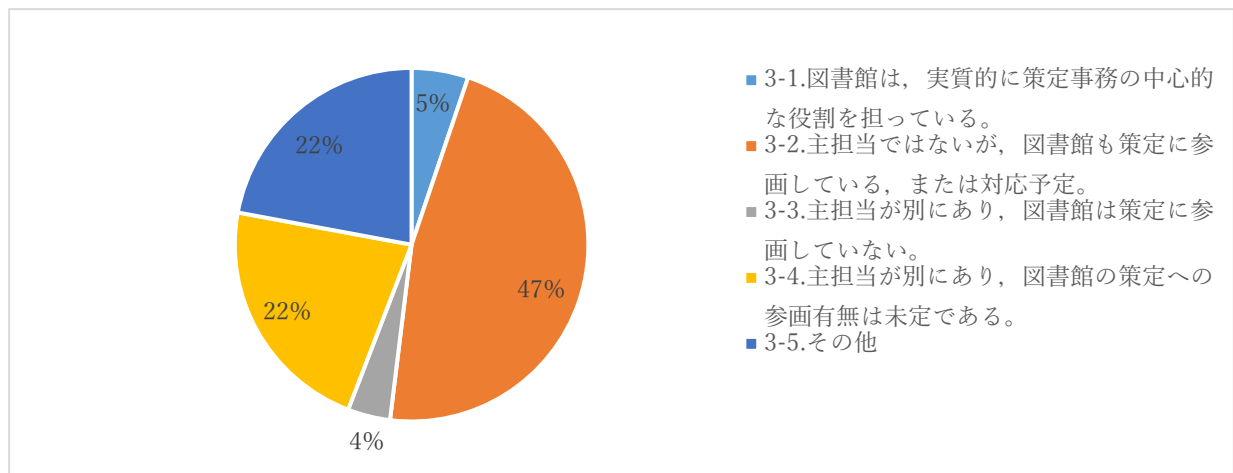
7) その他

- 学内への広報について
- 公開したデータの利活用の追跡はどのように行っているか。またその結果を研究者にどのように共有しているか。
- 実際に対応して困った点や問題点等について
- 機関リポジトリに入力した研究データの利活用について機関内外のデータ利活用の具体的事例を参考にし、関係者に利点を知ってもらう等の行動につなげたい。
- ムーンショット型研究開発事業で GakuNin RDM の使用が求められるかもしれないと研究支援の部署から情報提供がありました。実際に GakuNin RDM の使用が指定される例があるでしょうか？WEKO3 への移行が滞っている状況ですが、GakuNin RDM もシステム更新の際に同様の問題が生じないか危惧しています。
- 文部科学省研究振興局参事官 (情報担当) 付学術基盤整備室からの令和 3 年 6 月 2 日付け事務連絡『「公的資金による研究データの管理・利活用に関する基本的な考え方」について (通知)』は、どの程度の強制力があるのか明確に分からず、困惑している。

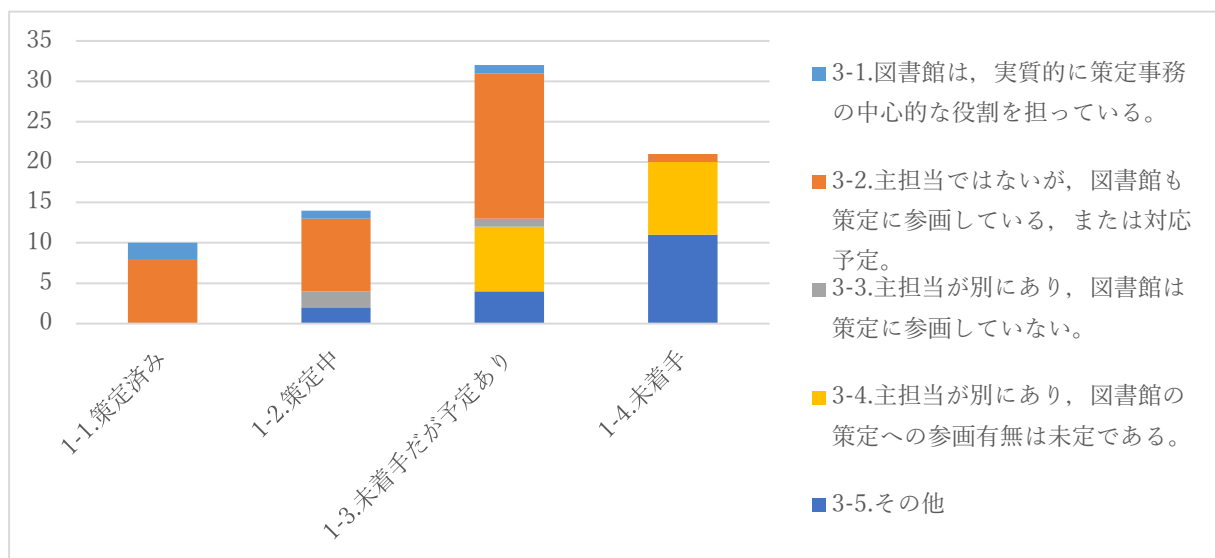
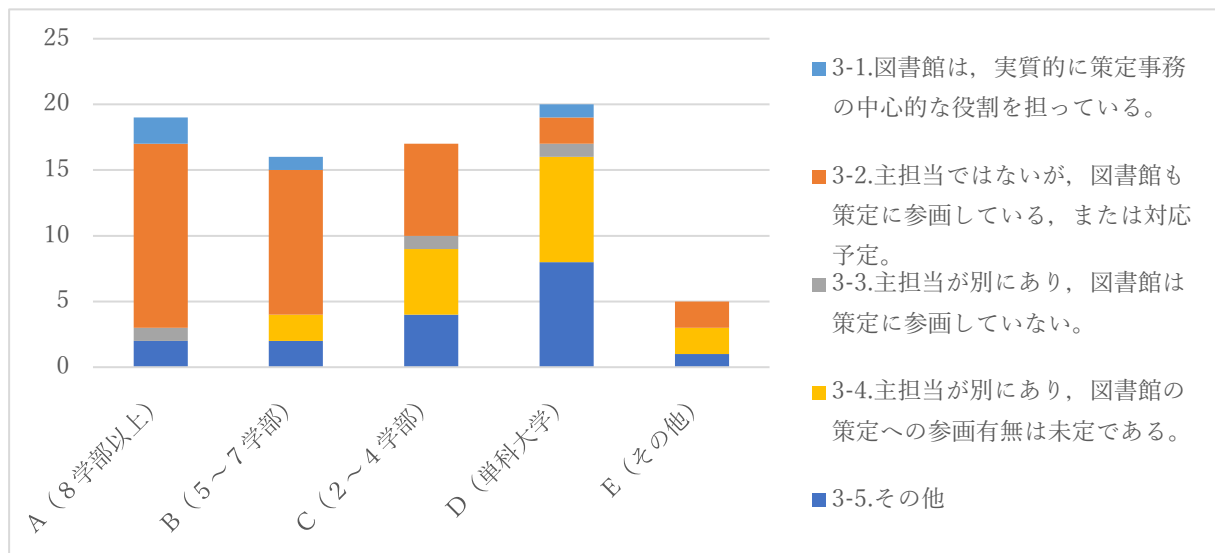
質問1. 貴学においてデータポリシー策定状況は現在、どの段階ですか？



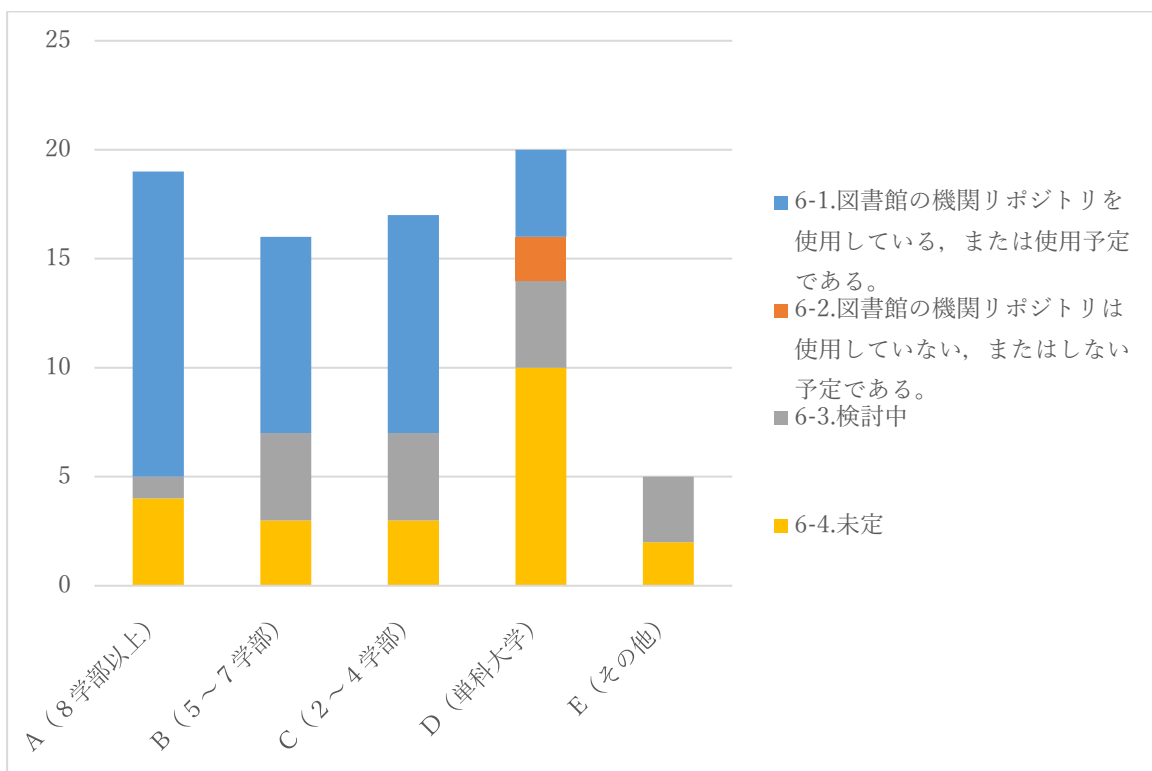
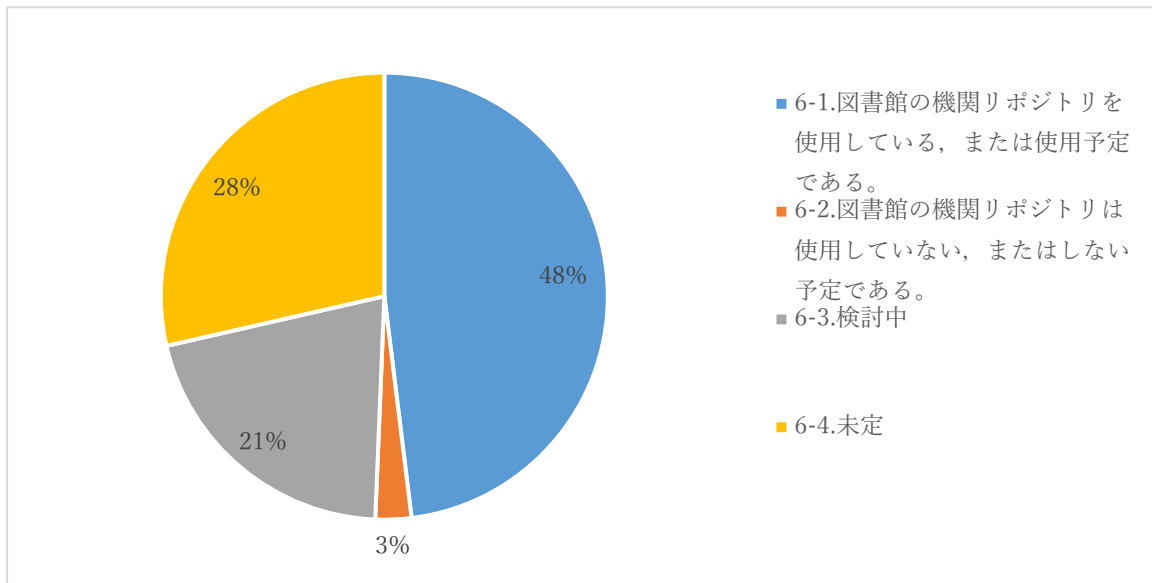
質問3. データポリシー策定に、図書館は関与していますか、または対応予定ですか？



※「その他」の主な状況は担当部署未定、検討中



質問 6. 公開データの取載は図書館の機関リポジトリを使用していますか、または使用する予定でしょうか？



アンケート調査 「研究データのポリシー策定および管理等への図書館の関与について」

<https://forms.office.com/r/3jAWDEsNZ1>

第9回統合イノベーション戦略推進会議（令和3年4月27日開催）による「公的資金による研究データの管理・利活用に関する基本的な考え方」に基づく、文部科学省研究振興局参事官（情報担当）付学術基盤整備室（令和3年6月2日付け発出文書）『「公的資金による研究データの管理・利活用に関する基本的な考え方」について（通知）』への対応等について、各機関内での研究データの管理・利活用に係るデータポリシーの策定および適切な取り組みの依頼について、対応状況等をお聞かせください。

本調査へのご回答は、各館の状況を把握し、今後の国立大学図書館協会活動の参考とさせていただきますが、館毎の回答内容を個別に公表することはありません。お答えいただいた館名および連絡先等の個別館が特定できる情報は、国立大学図書館協会資料委員会が回答内容のご確認や今後の情報共有等の活動に使用するものです。

ただし、回答内容の集計結果はオープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）と共有し、公表が原則であるサイト URL 等の一部情報は、国立大学図書館協会および関連団体等のウェブサイトで紹介する場合があります。

なお、ご回答にあたり、大学に複数の図書館がある場合は中央（本）館の機能を持つ館が代表でご回答ください。

アンケート回答期限：令和4（2022）年8月31日（水）

■回答者について

大学名／担当者所属／担当者氏名／連絡先メールアドレス（記述）

■研究データポリシー策定について

質問1. 貴学においてデータポリシー策定状況は現在、どの段階ですか？

回答

- 1-1. 策定済み
- 1-2. 策定中
- 1-3. 未着手だが予定あり
- 1-4. 未着手

質問2. 質問1の回答1-1の方に伺います。策定されたポリシーが公開されている場合は、公開URLをお教えください。

回答 2. (自由記述)

質問 3. データポリシー策定に、図書館は関与していますか、または対応予定ですか？

回答

3-1. 図書館は、実質的に策定事務の中心的な役割を担っている。

3-2. 主担当ではないが、図書館も策定に参画している、または対応予定。

3-3. 主担当が別にあり、図書館は策定に参画していない。

3-4. 主担当が別にあり、図書館の策定への参画有無は未定である。

3-5. その他

質問 4. 質問 3 の回答 3-5 の方に伺います。現在どのような状況なのか具体的にお教えください。

回答 4. (自由記述)

質問 5. データポリシー策定について、現在の取り組み状況、体制および、現在抱えている課題等について具体的な内容、その他ご意見等がありましたらお教えください。

回答 5. (自由記述)

■データ公開基盤について

質問 6. 公開データの取載は図書館の機関リポジトリを使用していますか、または使用する予定でしょうか？

回答

6-1. 図書館の機関リポジトリを使用している、または使用予定である。

6-2. 図書館の機関リポジトリは使用していない、またはしない予定である。

6-3. 検討中

6-4. 未定

質問 7. 質問 6 の回答 6-1 の方に伺います。図書館の機関リポジトリ使用にあたり課題があればお教えください。

回答 7. (自由記述)

質問 8. 質問 6 の回答 6-2 の方に伺います。図書館の機関リポジトリを使用しない理由をお教えください。

回答 8. (自由記述)

質問 9. 質問 6 の回答 6-2 の方に伺います。取載 (予定) システムについて、わかる範囲で

具体的にお教えてください。

回答 9. (自由記述)

質問 10. 質問 6 の回答 6-3 の方に伺います。現在どのような検討状況なのか具体的に課題があれば含めてお教えてください。詳細が決まっていない場合には、現在の状況を具体的にお教えてください。

回答 10. (自由記述)

■図書館の役割について

質問 11. 現状もしくは今後、図書館は研究データ管理の中でどのような役割りを果たしていますか、または果たす予定ですか？

回答 11. (自由記述)

■その他質問等

質問 12. 最後に、研究データポリシーの策定および研究データの管理・利活用に関して、お知りになりたいこと、他機関（特に先行する大学等）にお聞きになりたいこと等がありましたら、自由に記述ください。

回答 12. (自由記述)

質問 13. 国立大学図書館協会では今後、把握した各館の策定段階や状況に応じた、会員館相互の情報共有を促進するための企画を検討します。たとえば、情報交換会や懇談会を開催する場合はご参加いただけるでしょうか。参加いただける可能性がある場合は、連絡先（担当者名とメールアドレス）をお教えてください。

回答 13-1. (連絡先担当者名)

回答 13-2. (メールアドレス)